

2 まちづくりの目標と政策の方向性

基本理念を実現するため、次の5つの政策の柱を定めて、計画的にまちづくりを進めます。

基本理念 自然が生きる、人が輝く、交流のまち“胎内”

基本政策1 子育て・教育・学び
～子どもの成長、豊かな心と生きる力を育むまちづくり～

基本政策2 健康・福祉
～健やかで生きがいを持って暮らせるまちづくり～

基本政策3 産業・雇用
～人をひきつける活力のあるまちづくり～

基本政策4 生活基盤
～まちの成長を支えるしなやかな基盤づくり～

基本政策5 自治・協働
～市民と行政の協働によるまちづくり～

2-1 子育て・教育・学び

子どもの成長、豊かな心と生きる力を育むまちづくり

(1) 政策の方向性

- ◇ 親世代の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス*）と子世代の明るい未来を支える手厚い支援体制を構築し、結婚・出産・子育てを応援する社会の実現を図ります。
- ◇ 家庭、地域、学校等が一体となって子どもの成長を見守る環境づくりや、ふるさと体験学習や全国的にも優れたキャリア教育*といった特徴的な教育プログラムの提供により、ふるさとを思い、自らの目標と夢を持ち続けられるたくましい人材を育成します。
- ◇ 地域に根ざした歴史・文化資源にふれてその価値を発見したり再認識したりする機会や、こうした資源の魅力を地域内外に発信して交流する機会を設け、歴史・文化の継承と地域への愛着の醸成を図ります。
- ◇ 胎内市の豊かな自然環境や多様な生涯学習施設、スポーツ施設等を活用して、市民の自主的な活動を応援し、生涯学習や生涯スポーツ、まちづくりに取り組む市民の裾野を広げます。

(2) 5年後（令和8年）のまちの姿

- ◇ 市民が生活を楽しみ、まちづくりに主体的に関わり、それが更に人を呼び込むような好循環が生まれている。
- ◇ 適切なサポートによって、結婚・出産の希望をためらったり、諦めたりする人が減り、市内に若い世代の家族や子どもが増えている。
- ◇ 子育てや教育に際して周りから支援を受けた市民が、ある時期を経て、互助の精神で支援をする役割を担い、支援の輪が広がり、続いている。
- ◇ 生涯を通じて、歴史や文化を含めた知識の探究やスポーツ活動、まちづくり活動などを楽しみながら、生きがいや人とのつながりを得ることができるまちになっている。
- ◇ それぞれの関心事や得意分野を生かして活躍している大人を見て、自然に学習意欲や胎内市への愛着を持つ子どもが増えている。
- ◇ 胎内市の子育て・教育・学びに対する内外の評価が一層高まり、それらのことに魅力を感じ、胎内市を訪れたい・胎内市に住みたいという人が増えている。

2-2 健康・福祉

健やかで生きがいを持って暮らせるまちづくり

(1) 政策の方向性

- ◇ 健康診断・保健指導を受け、食事や運動、休養等の適切な生活習慣を身につける「疾病予防対策」と、人とのふれあいや生きがいを持つなどの「元気増やし対策」を推進し、生活の質の向上・維持を目指します。
- ◇ 医療・介護資源の拡充と地域の支え合いを推進し、拡大する高齢者福祉のニーズに対応する住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供する体制（地域包括ケアシステム*）の構築を図ります。
- ◇ 各地域で行われているサロン活動*など地域のつながりの中で問題を早期に発見し、相談や支援に迅速につなげる体制を市民と協働で構築し、病気や障がい、生活困窮をはじめとする困難を抱えた人が自分らしく生活を送ることができる社会の実現を目指します。

(2) 5年後（令和8年）のまちの姿

- ◇ あらゆる人が自分の居場所や役割を見つけ、誇りを持って暮らし続けることができるまちになっている。
- ◇ 健康づくりや病気の予防に気を配る意識が浸透し、人とのつながりや生きがいをもって生き生きと活動する人が増え、医療や介護を必要とする人には適切なサービスが提供されている。
- ◇ 医療や福祉、ボランティア等の支えによって、自宅で親しい人に見守られながら安らかな最期を迎える人、それを希望する人が増えている。
- ◇ 助ける側・助けられる側の区別なく、困った時にはお互いに手を差しのべる支え合いの文化が地域に根付いている。

2-3 産業・雇用

人をひきつける活力のあるまちづくり

(1) 政策の方向性

- ◇ 中小企業を中心とする既存企業の振興拡充と新潟中条中核工業団地等への企業誘致という両輪によって、主要産業である工業・製造業を中心に地域経済の活性化や安定的で良質な雇用の確保を図ります。
- ◇ 生産の効率化や大規模化による生産性の向上、米粉や甘草を活用して進められている6次産業化*や特徴的な商品・サービスの開発による収益性の向上を推進し、魅力ある農林水産業の育成を図ります。
- ◇ 市内に不足する業種の展開や地域資源を生かした新たなチャレンジ、市内で独立・起業する技術者等への支援、再生可能エネルギー*をはじめとする次世代産業の育成によって、新たな活力と雇用の創出を図ります。
- ◇ 魅力のある市内企業や意欲を持った市民、地域・行政が協働して、交流人口および定住人口（UJI ターン*）の増加による地域経済の活性化や多彩な人材の確保を進めるとともに、次世代の働き手である子どもたちが市内企業を身近に感じるためのきっかけの創出を図ります。
- ◇ 歴史・文化を生かした体験型のプログラム等の提供による交流や教育の振興、飲食サービスや農畜産物等の製造・販売と連携した収益性の向上等により、胎内リゾートをはじめとする多様な観光資源や豊かな自然資源の更なる有効活用を図ります。

(2) 5年後（令和8年）のまちの姿

- ◇ 生産年齢人口*は減少するものの、地域経済の好循環が図られ、まちの稼ぎ（域外からの流入と域内の循環）が増加している。
- ◇ 安定した収入が得られ多様な働き方ができる職場が増え、進学で一度まちを出た若者のUターンや女性の就労が増加している。
- ◇ 豊かな自然等の地域資源を背景に様々なかたちで「胎内ブランド」が確立し、地域の人やお金の流れが活性化している。
- ◇ 市内に不足する業種の展開や市内での独立・起業など新たなチャレンジが生まれている。
- ◇ おもてなしの心をもって観光客を受け入れる体制が整い、胎内市を訪れるリピーターに加え、今まで胎内市を訪れたことの無い人も訪れて、魅力を感じる人が増えている。

2-4 生活基盤

まちの成長を支えるしなやかな基盤づくり

(1) 政策の方向性

- ◇ 市民との協働により白砂青松をはじめとする自然環境の保全を図りながら、自然体験や再生可能エネルギー*の導入等の自然を活用する取組を一体的に推進します。
- ◇ 大気・水・臭気・騒音の基準が遵守された快適な生活環境を形成します。
- ◇ 既存施設等を有効活用しながら、コンパクトなまちづくりと地域交通の利便性向上を進め、中心部と周辺部を有機的に連結し、快適で利便性の高い都市基盤の形成を図ります。また、産業を支える道路等の基盤の再整備や転入希望者の受け皿となる魅力的な住宅・宅地の確保等の都市の持続的な成長に向けた方策を検討します。
- ◇ いつ起きるか分からない地震等の自然災害、交通事故や犯罪被害等から市民の生命・身体・財産を守ることを目的に、ハード事業とソフト事業の両面から災害等に強いまちづくりを推進します。

(2) 5年後（令和8年）のまちの姿

- ◇ 自然環境と都市機能が調和する魅力的な環境が市内外の人をひきつけている。
- ◇ 豊かな自然がより魅力的な形で受け継がれ、市民の生活の中に自然とふれあう場面が広がっている。
- ◇ 高齢者や子どもが気軽に利用できる公共施設などを核にして、まちなかに人が集っている。
- ◇ 公共施設等を含めた社会基盤の維持管理や防災・防犯対策が適切に行われ、生活上の不安（将来への不安や安全面の不安）が解消されている。

2-5 自治・協働

市民と行政の協働によるまちづくり

(1) 政策の方向性

- ◇ 地域の特徴を生かしたまちづくりや次世代育成等の重要な課題に取り組んでいくため、市民との協働や産官学金労言*の連携、職員の能力向上等に努め、胎内市全体の問題解決力の向上を図ります。
- ◇ 市政やまちづくりに関する分かりやすい情報の提供や、市民の発意による事業や活動を応援する仕組みの構築を進め、社会参画・行政参画に関心の低い方々を含めた市民全体が当事者意識を持ち、協働のまちづくりが生まれる土壌の整備を図ります。
- ◇ 人権教育や啓発活動に取り組むとともに、生まれや性別、年齢や育った環境、外見的な違い等による差別や偏見のない社会の実現を目指します。
- ◇ 多様性の尊重と機会均等の原則のもと、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス*）を実現する環境の整備や啓発活動を推進し、誰もが役割とやりがいを見つけることができる社会の実現を目指します。
- ◇ 行政評価を踏まえながら、まちづくりの新たな価値を創出することに資するような行財政改革を推進し、市民等の満足度を高める質の高い行財政運営に努めます。

(2) 5年後（令和8年）のまちの姿

- ◇ 市民と行政との信頼関係が深まり、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を持つ自立した市民・団体が活躍している。
- ◇ 家庭や仕事・学習、地域活動等を無理なく両立し、自助*自立の風土の中で、女性や若者の活躍がまちの新しい活力につながっている。
- ◇ 市民一人一人が自分の個性と能力を十分に発揮し、尊厳を持って生活できるまちになっている。
- ◇ 地域の課題解決に際して市民や地域の力、企業の力、行政の力が最大限発揮され、胎内市の公的サービスの水準が向上している。
- ◇ 効率的な行政運営によって胎内市の財政状況が改善し、時代に対応した新しいチャレンジができる余裕が生まれている。